No.52
熊広報
平成27年6月15日
熊地区広報発行委員会
発行責任者
熊地区長　竹中　兼利
公民館長　三浦喜代次

第55回熊地区 親子運動会を終えて

熊公民館長　三浦　喜代次

町内対抗の色合いを強くして

去る5月9日(土)刈谷市体育館において竹中市長ご臨席のもと第55回熊地区親子運動会を開催いたしました。55年の歴史の重みを感じながら企画する中でいろいろな意見が出ました。「親子運動会」の名称では一般の皆さんが参加しにくいのではないか、より多くの高齢者の方々に参加していただくにはどうすれば良いのか、もっと町内対抗の色合いを強くしてはどうかなどの意見があり本年度は『対抗』をテーマに綱引き玉入れ、リレーの得点方法の変更や熊の音頭にも競争の要素を取り入れました。綱引きでは昨年までシャトルズ(6名)に勝てなかった子供チーム(宝20名)が勝ったことに驚きました。玉入れでは3つカゴを設け3町内同時に競いました。一般の方のカゴに入った玉数は子供の約10倍(子供14コ一般120コ)昔取った杵づかパワーに感心いたしました。リレーではバトンタッチで順位が入れ替るなどいつもながらの盛り上がりを見せました。

優勝の八幡町チームはシャトルズの皆様一人ひとりに金メダルをかけてもらい満足気でした。

豊田自動織機ラグビー部の参加を得てのラグビー教室では今回は中学生ボランティアの皆さんも加わり50人余りの子供たちと一緒に会場狭しと動き回り盛り上がりました。

これらの競技の合間には“熊の音頭”保存会の皆様による盆踊りがあり大勢の子供達も踊りの輪に加わりワイワイガヤガヤ楽しい運動会でした。結果はチーム力を発揮した熊野町チームが善戦する八幡町、宝町チームを僅差でかわし総合優勝しました。

おわりに、この運動会を支えてくれた中学生ボランティアの皆さん、物心両面でお力添えをいただいた地域の企業、商店の皆様に深く感謝いたします。

竹中刈谷市長のあいさつ

三浦館長に選手宣誓

まずは準備体操

楽しかった玉入れ

誰にも負けないよ！

熊村舟着場の碑

郷土史研究会　会長　竹中　兼利

安養寺の坂を東に向かって登ると右手の金網の中熊村舟着場の文字が読めます。この碑は安養寺先代住職三浦長容さんが竹中喜太郎さんに依頼して位置を定めて平成二年十一月九日に建てたものです。位置の選定のもとには喜太郎さんが複製した『三河国大地図』が使われました。地図によると、熊村より尾州村木村までは海上十一町三十間(約一・三キロメートル)でありました。

今から三百年前はお寺の下から西の低地(現在は水田になっている)が海だったのです。昭和三十四年(一九五九)九月二十六日に襲来した伊勢湾台風により、この低地の水田は海に戻ったようになったことを記憶しています。

今では海は高浜迄行かないと見えませんが、昔は知立から豊明の辺りまで衣浦湾が入り込んでいました。縄文時代の遺跡の分布をみると衣浦湾が相当奥まで広がっていたことが分かります。三浦長容さんの話によれば、安養寺がまだ天台宗であった頃、この舟着場のそばに物見の松という大松があって大府の延命寺(現在も天台宗)と旗によって行き来のボランテ合図をしていたそうです。

お寺の西の海も天和二年(一六八二)に新田が作られて狭められ、天明七年(一七八七)には新々田が作られて狭められていきましたが、今では当時の面影を残すものはなくなりましたが、安養寺の山号『海上山』に海があったことがしのばれます。

熊村舟着場の碑

ごあいさつ

子ども会　会長　鬼頭　晴視

平素は、子ども会の活動に温かいご支援、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

今年度も十四名の役員で子ども会の活動がスタートしました。四月には「新入生歓迎会」、五月九日には「第五十五回熊地区親子運動会」が刈谷市体育館にて盛大に行われました。

今後も、七月には夏祭りや万燈祭、八月には夏のお楽しみ会、十月には秋祭りなど、様々な行事を予定しております。

お疲れ様　鬼頭会長

子どもたちには、子ども会の行事等を通じて、いろいろな体験、心に残る思い出を作ってもらえるよう「明るく楽しく安全に」をモットーに、役員十四人力を合わせて頑張って行きたいと思います。

今年度も、熊地区の地域の皆様と協力し合い、子どもたちの成長をともに見守りながら、地域の皆様との連携、絆、理解を深めていけたらと考えております。

今後も、子ども会活動に温かいご支援をいただけますよう、よろしくお願いいたします。

最高の運動会

六年　山下　陽夕

私は最後の熊地区運動会に参加しました。最後の運動会なのでとてもがんばりました。

参加競技は、綱引きと障害物競走です。綱引きは一勝一敗だったけど、力を一つに合わせてせいいっぱいがんばりました。一番心に残った事はリレーです。私は参加していませんが、友達のがんばりがすごいと思ったからです。みんなとてもがんばっていて速かったです。でも、特にすごいのは奈々華さんと美ノ里さんです。奈々華さんは意外にとても速く、全員追い抜かす速さでぶっちぎりの一位美ノ里さんは、奈々華さん妃那子さんと一位をキープし、足が速い敵の男子二人にみごと勝ちました。トロフィーももらい、最後の最後に心に残る事となりました。

いい思い出を残せてよかったです。次は中学生ボランティアで出られるといいなぁと思いました。

優勝だー！やった～

がんばった運動会

三年　中村　宥紀子

熊地区の運動会で、わたしは玉入れとしょうがい物きょう走とリレーに出ました。しょうがい物きょう走は、さいしょのれつだったので、とてもきんちょうしました。ブルーシートをくぐったりへいきん台をわたったりしてむずかしかったけど、お玉でボールをすくって走るのは上手にできて、楽しかったです。

ラグビー教室では、お兄さんたちがやさしく色んな運動を教えてくれました。熊の音頭の時はがんばって大きな声を出しました。とてもいい運動会でした。

最高の盛り上がりでした

くまちくおやこうんどうかい

一ねん　かつざき　ようた

ぼくは五がつ九にちにはじめてくまちくうんどうかいにさんかしました。たまいれとおかしとりにさんかしました。たまいれのたまをいれるところが、むずかしかったです。ラグビーきょうしつでおにごっこをしました。ラグビーのせんしゅがおにで一かいもつかまらなかったです。らいねんはとよたはいリレーにさんかしたいです。

ボランティアに参加して

東中　一年　小野　瑞稀

私は熊地区子ども会の親子運動会に、初めてボランティアとして参加しました。今までは選手として競技に出たり応援をしていましたが、今回は受付や器具の準備、後方付けなどを先輩や子ども会の役員さん、地区の方々と共にやらせて頂くので、緊張が胸に広がっていました。初めは素早く行動できず、迷惑をかけてしまうことがありました。しかし、スムーズにできた時は、何とも言えない達成感を味わうことができました。

この運動会を通して、小学生の子や地区の皆さんと話すことができ楽しかったです。私が今回お手伝いできたことは微力でしたが、たくさんのことを経験できた、とても貴重な時間でした。今後も、地区のボランティアに進んで参加したいです。

大会を盛り上げてくれた
中学生ボランティア

ごあいさつ

熊地区長　竹中兼利

熊地区の皆様には益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

皆様のご協力をもとに十四名の地区委員とともに当地区がより安全で住みよい町になることを願って諸活動に当たりたいと思っています。どうか宜しくお願いします。

さて、今年は刈谷市制六十五周年ということで、各種のイベントが行われますが、熊地区も市におとらず親子運動会・夏祭り・敬老会・熊地区文化展などの行事を行って地区の皆様の親睦を図っています。また、豊田自動織機さんと万燈祭を行っています。熊地区の皆様とともに盛り上げてよいものにしたいものです。

熊地区の世帯数は千四百六十一、班の数は百二十五を数え、刈谷では中堅の町です。当地区がますます住みよい町になるようご協力をお願いします。

熊地区は熊野町、八幡町、宝町の三地区にわかれていますが、これはあくまでも行政面での区分けです。熊地区全体が「皆は一人のために、一人は皆のために」の心で働ける日が来ることを願っています。

竹中地区長

今年は五年目ごとに実施される国勢調査の年に当たります。調査員の方が訪問されると思いますが、ご協力をお願いします。

また、この頃は御嶽山の噴火や箱根山の地震活動等が起きています。南海トラフによる南海地震が起きる確率が高くなっているということも言われています。熊地区においても防災への備えを進めていきたいと考えています。

婦人会からのお知らせ

婦人会　会長　相羽　淳子

盆踊りの練習始まります！

今年も、六月から、活気あふれる練習が熊市民館で行われます。汗をかいて皆で楽しく輪になって踊りましょう。一石二鳥頭の体操にもなりますよ。

多数の参加まっています。

★盆踊りの練習日(毎週金曜日)

▼六月五日(金)　十二日(金)
十九日(金)　二十六日(金)
▼七月三日(金)　十日(金)
お間違いなく。

※場所　熊市民館　二階集会室
※時間　午後七時～八時半
※持物　汗拭タオル、上靴、うちわ

★地区盆踊り

▼七月十八日(土)十九(日)

★市民盆踊り大会

▼八月十五日(土)

●刈谷市婦人会連絡協議会より

貸衣装展示会(冠婚葬祭全般)
※場所　市民交流センター三階
※日時　六月二十七日(土)
午前九時半～午後四時半
六月二十八日(日)
午前九時半～午後四時
粗品とお抹茶の席を用意しております。足をお運び下さい。

ボランティアグループ熊なでしこ会

会長　三浦　昌子

皆さん今日は。私達は高齢者の方々の生活の充実と繋がりを深めることを目的とするボランティアグループです。その活動のひとつとして四月上旬なごやか交流会を開きました。お口の運動パタカラ体操から始まり、保健師小山様に毎日の生活の中での認知症予防のお話をして頂き、面白くて楽しい脳トレゲームではいつの間にか皆さんの笑い声が響いていました。午後からは熊琴星会の皆様による大正琴演奏と曲にあわせて童謡、懐かしい歌謡曲を口ずさみ素晴らしいハーモニーでした。次々とアンコールが出る程の盛り上がりでした。肌寒い日ではありましたが心温まるほのぼのとした楽しい一日でした。

刈谷市消防団　第四分団より

分団長　奥村　直哉

初めに、消防団活動に地区の皆様の絶大なるご理解とご支援に対しまして、厚く御礼申し上げます。

現在、四分団は六月十四日に刈谷市総合運動公園にて行われる、消防操法競技会へ向けて週三日、早朝四時半より六時半まで、亀城小学校にて厳しい練習を行っているところです。周辺住民の方々には、色々とご迷惑をおかけしますがご理解の程よろしくお願いします。

最後に今現在消防団員が大変少なく、防火、防災活動を行う際に満足のいく活動ができないのではないかと危惧しています。我々が消防団員勧誘活動をしている時にはお話だけでも聞いて頂けると大変助かります。消防団員勧誘活動でご自宅を訪問させていただきますが、その際は宜しくお願いします。

熊地区の自主防災会について

自主防災会　会長　竹中兼利

平成七年の阪神大震災、四年前の東日本大震災は、私たちの心に大きな衝撃となって残っています。

『災害は忘れた頃にやってくる』のことわざがあります。東日本大震災で被災された方々の悲しみを忘れずに、私達熊地区住民は、防災・減災に努めていく事が大切かと思います。

今回は熊地区自主防災会についてお知らせします。

一、自主防災会の意義

自主防災会は、熊地区内に住んでいる人たちが『隣近所の住民で助けあおう』という精神で、自主的に結成する組織です。

二、自主防災会の必要性

阪神・淡路大震災では、救助された95％の人たちは自力で、または家族や隣人によって救助されています。専門の消防や救助隊などに助けられた方は、僅か1.7％でした。発生直後では隣近所の住民で助け合う事が求められています。

三、自主防災会の役割

日頃から熊地区の安全点検や防災・減災に関する知識の普及、防災訓練の実施などの事業を行っていこうと考えています。実際に地震が発生した場合、初期消火、被災者の救出救護、避難所の運営などを行っていきます。

ご協力をお願いします。

刈谷市制施行六十五周年式典で藤田さん感謝状を受賞

八幡町四組の藤田政夫さんが五月二十一日の式典において表彰されました。

熊地区の活性化を目指して地区長・安全パトロール隊長・公民館役員として活躍されました。多彩な技能を発揮されて各種の行事を考案され、いろいろな行事に子どもの目をひくバルーンアートのおじさんとして親しまれています。刈谷おもちゃの病院のドクターでもあり、ボランティア活動の範囲は全市的なものとなっています。

最近では三月の東日本大震災のメモリーとしてろうそくで「絆」の火をともす活動をされています。ろうそくのあたたかい光は町の人に深い共感をあたえ、評判となりました。

また、熊地区文化展には毎年作品を出されます。特に宝船などの手芸品を五円玉で作られて人の関心を高められています。今は万燈作りのリーダーとして率先して活躍されています。昨年の中万燈『三浦介』は評判の出来栄えでした。今年も新しいアイデアが出てくるか楽しみです。

これからも熊地区のためにご活躍くださることを願っています。

なお、同式典では宝町の笠松信子さん(日本赤十字奉仕団での活動)、川松真悟さん、勝崎太己さん(消防団活動の功労者)も受賞されました。(竹中地区長　記)

受賞された藤田さん

世界遺産【富士山】の旅

熊老壮会　会長　村井　修治

去る五月十八日、老壮会員四十一名で『富士芝桜まつりと三保の松原日帰りの旅』に出かけてきました。

雨を心配していましたが、会員の皆さんの心がけが良かったのか、傘をさすことなく、富士山の雄姿をながめることができました。ピンク一面の芝桜のむこうに雄大な富士山が見えたとき、大きな歓声が上がりました。

初めて老壮会の旅行に参加された方が数名おられました。秋の一泊二日の旅にも多くの方の参加を楽しみにしています。

芝桜のように楽しい笑顔

熊野神社だより

総代会　会長　鈴木　眞二

日頃は熊野神社の運営にご支援、ご協力を頂き有難うございます。「熊野神社協力金」では、多くの皆様にご寄進を頂き深く感謝しています。この協力金により、熊地区の安全、安心、繁栄をお祈りする熊野神社月次祭等の祭祀に大切に使わさせていただきます。

平成二十七年は、大東亜戦争終結七十年の節目の年。熊野神社本殿、東側の報国神社には、日露戦争から大東亜戦争までの熊地区戦没者九十八名が祀られております。五月十日には、ここに祀られている英霊を慰霊するために、ご遺族や地区関係者の皆様により、報国神社祭が執り行われました。英霊に守っていただいた国、町に、私たちは生きていることをあらためて感じました。

報国神社祭

本年度上期の祭祀を左記の様に行いますので多くの皆様のお参りをお待ちしています。

6月14日　月次祭　7月12日　月次祭
8月9日　月次祭　9月13日　月次祭

熊地区防犯について

熊地区安全パトロール隊
隊長　佐藤　正道

最近、刈谷市に於いても犯罪『侵入盗、自動車盗、車上狙い、自転車盗』が多発しています。あなたの家族、お子様、車は大丈夫ですか。

地区安全パトロール隊は、地域住民が安全で安心して暮らせる様に、地域のパトロールを、昼と夜、定期的に実施して居りますが、まだまだ十分でなく安心出来ません。

地域の人々の目で、『不審者を、近づけない、入れない、出さない』を心がけて、『みんなで実践、目くばり、声かけ、一一〇番』『安心と、安全を守る熊の民』を合言葉にして、地域住民が安全で安心して暮らせる様に頑張っています。ご協力お願いします。

熊地区安全パトロール隊員を募集しています、入隊希望の方は、左記の隊員まで、ご連絡ください。

隊員には制服(ウインドブレーカー、ベスト、帽子)を貸予支給いたします。

佐藤　正道
伊熊　勝彦
神谷　茂
大鹿　勝己

編集後記

今年度は神谷晴次・前田篤・飛田幹子が広報を担当します。夏から秋にかけて沢山のイベントを予定していますので楽しみにして下さい。